

第8回ひのもとなにしてる大賞を終えて

平成29年11月11日
第8回なにしてる大賞審査委員長
甲本喜胤

平成22年から始めた姫路日ノ本短期大学「なにしてる大賞」も今回で第8回目を迎えることができました。若い世代の新鮮な感性が感じられる作品を数多くお送りいただきありがとうございます。今年度は応募作品をお一人一点に絞らせていただいたため、応募者数は増加したものの、応募点数は少し減少しました。作品については質的な向上が見られ、レベルも年々高くなってきているように感じられます。ご応募いただいた作品については、各部門で慎重な審査を重ね、今回の入賞作品を決定いたしました。

まずイラストの部門については、3部門の中では応募総数が83点と少数ながら、優秀な作品が多く集まりました。どの作品が入賞しても不思議ではないと審査員全員が感銘を受け審査に苦労しました。中でも姫路市立琴丘高校からご応募いただいた小林翔織さんの作品「やりたいことが多すぎる」は、高校生が日々の勉強や遊びや友人関係など山積する多様な課題をどうこなしていけばよいのか、迷いながら、何から取り組むべきか悩んでいる姿が表現されていて、なにしてる大賞の趣旨を踏まえた爽やかな作品となっていて大賞に推薦されました。

そのほか兵庫県立龍野北高校の森本恵さんの「イラスト作品」が窪商運賞に、大阪教育大学の河原明日菜さんの作品「afterglow」がクリエイティブ賞に、武蔵野美術大学の瀧嶋三稀さんの「踏み出す勇氣」が優秀賞にそれぞれ選ばれています。

エッセイ部門の応募では姫路日ノ本短期大学の矢野成美さんの短歌「夢見る我、先のことはまだ見えないが進んでいるよ心のコンパス」が、今年度から新たに設けられた準大賞の姫路大手前ライオンズクラブ賞に、同じく姫路日ノ本短期大学の岸原沙瑛さんの短歌がユーモア賞に、近畿大学附属中学校の中村綾音さんのエッセイ「人生のキャンパス」がソネック賞に、国際基督教大学の太田菜里さんのエッセイ「相思相愛」が優秀賞にそれぞれ選ばれました。

写真部門では夕焼けに染まる砂浜で友人たちが手をつないでジャンプする一瞬の様子を写した熊本大学の北島侑樹さんの「夏の終わりを実感」が山陽百貨店賞に、京都市立芸大の清水花菜さんの「ゆるる、」が優秀賞にそれぞれ選ばれています。

また、佳作となった各部門の作品も若者らしい日常生活の一瞬の気持ちを感性豊かに表現していて、今回の「なにしてる大賞」の趣旨にもよく合致している作品ばかりでした。大賞以下佳作賞も含め入賞された作品については12月末まで姫路日ノ本短期大学内食堂横のギャラリーに展示してありますので、御家族やお友達を伴ってぜひご覧ください。今回、残念ながら入賞とならなかった作品の中にも、若者らしい日常を切り取って表現した好感もてる作品が数多くありました。主催者側の都合で入賞点数にも限りがありましたので表彰には至りませんでしたが、今後さらに精進され、捲土重来し、次回に応募されることを期待しています。

□審査委員

姫路日ノ本短期大学 学園長：池田武弘 特任教授：甲本喜胤 准教授：岡田教三
講師：鍛示加奈子 非常勤講師：清水誠朗
スポンサー賞については、各スポンサー企業御代表様のご協力、ご推薦をいただきました。

□各部門の受賞者数と応募総数

イラスト部門	大賞1点	クリエイティブ賞1点	窪商運賞1点	優秀賞1点	佳作6点
エッセイ部門	準大賞1点	ユーモア賞1点	ソネック賞1点	優秀賞1点	佳作12点
写真部門	山陽百貨店賞1点	優秀賞1点	佳作9点	／応募総数787点	

部 門	中学生	高校生	大学 専門学校	規定外	合 計
イラスト	5	38	40	0	83
写 真	5	32	77	6	120
エッセイ	8	456	118	2	584
合 計	18	526	235	8	787

第8回ひのもと なにしてる大賞授賞一覧

2017 年 11 月 11 日 姫路日ノ本短期大学なにしてる大賞実行委員会

授 賞	部門	学校	作品タイトル	氏名
大賞	イラスト	琴丘高校3年	やりたいコトが多すぎる!!	小林 翔織
準大賞（姫路大手前ライオンズクラブ）	エッセイ	姫路日ノ本短期大学1年		矢野 成美
ユーモア賞（日新産業株式会社）	エッセイ	姫路日ノ本短期大学1年		岸原 沙瑛
クリエイティブ賞（株式会社ウイル）	イラスト	大阪教育大学1年	afterglow	河原 明日菜
山陽百貨店賞	写真	熊本大学3年	夏の終わりを実感。	北島 侑樹
窪商運賞	イラスト	龍野北高校2年		森本 恵
ソネック賞	エッセイ	近畿大学附属中学1年	人生のキャンパス	中村 綾音
優秀賞	写真	京都市立芸術大学2年	ゆれる、	清水 花菜
優秀賞	イラスト	武蔵野美術大学1年	踏み出す勇気	瀧嶋 三稀
優秀賞	エッセイ	国際基督教大学教養学部4年	相思相愛	大野 栞里
佳作	イラスト	琴丘高校2年	昼休みは短いからこそ楽しい。	西山 百花
佳作	イラスト	琴丘高校3年	お腹痛い	藤原 綾香
佳作	イラスト	立命館高校3年	あせってる	糟谷 晴
佳作	イラスト	中国デザイン専門学校1年	シンジュウ	上木 柚花子
佳作	イラスト	中国デザイン専門学校1年	好きな色だけ見ている。	竹内 啓祐
佳作	イラスト	生駒市立大瀬中学3年	未来へ向かって	木路 朋華
佳作	写真	岡山理科大学附属高校2年	教室で押し潰されそうになってる	山口 りな
佳作	写真	新潟大学2年	何の具入れる？	篠崎 万智子
佳作	写真	姫路日ノ本短期大学1年		植坂 頼子
佳作	写真	福岡市立当仁中学2年	一緒に一息つく？	大野 恵睦
佳作	写真	熊本北高校3年	ダイナミック	前田 真弥
佳作	写真	姫路日ノ本短期大学1年		柴田 優花
佳作	写真	姫路日ノ本短期大学1年		森下 希望
佳作	写真	中国デザイン専門学校1年	青春、ラストスパート	鳥越 彩加
佳作	写真	明治学院大学3年	黄昏れ	土田 智也
佳作	エッセイ	武蔵野大学3年	はじめまして、そしてこれから	明内 亮雅
佳作	エッセイ	兵庫県立宝塚北高校3年	見つけたもの	辻元 新
佳作	エッセイ	福岡県立八幡高校2年	ぐるぐる	平原 のぞみ
佳作	エッセイ	東京大学4年	にやにや	山縣 香奈
佳作	エッセイ	神戸女学院高等学部2年	きょうもたたかえ	山本 亜侑
佳作	エッセイ	早稲田大学2年	家族の愛	滝澤 有咲
佳作	エッセイ	筑波大学大学院2年	きっかけ	河面 知定
佳作	エッセイ	沖縄県立読谷高校3年	笑っている	長濱 若奈
佳作	エッセイ	姫路日ノ本短期大学1年	—短歌—	植坂 頼子
佳作	エッセイ	日ノ本学園高校1年	—短歌—	鳥井 萌衣
佳作	エッセイ	日ノ本学園高校2年	—短歌—	田尻 沙紀
佳作	エッセイ	日ノ本学園高校3年	—短歌—	東森 麻祐

第8回 ひのもとになしてる大賞



姫路市立琴丘高等学校3年 小林 翔織 「やりたいコトが多すぎる!!」

準大賞

姫路大手前ライオンズクラブ会長賞

エッセイ部門（短歌）

夢見る我 先のことはまだ見えないが
進んでいるよ 心のコンパス

ユーモア賞

スポンサー賞 日新産業株式会社様

エッセイ部門（短歌）

ひたむきに 目の前のもの 追い続け
やっと見つけた 成りたい自分

姫路日ノ本短期大学一年生 岸原 沙瑛

クリエイティブ賞

スポンサー賞 株式会社ウイル様



大阪教育大学 1 年 河原 明日菜 「afterglow」

山陽百貨店賞

スポンサー賞 株式会社山陽百貨店様



熊本大学3年 北島 侑樹 「夏の終わりを実感。」



ソネック賞

スポンサー賞 株式会社ソネック様

近畿大学附属中学校 1年 中村綾音

「人生のキャンバス」

真っ白なキャンバス。私はそこに色を繰り出し、描く、選択する、色を作る、筆を進める。書き上げたキャンバスには、「自分」という壮大な絵が現れる。

私はどんな絵を書き上げるのだろう。でも今はまだ、絵の具だけを、筆だけを、キャンバスだけを選ぼう。13歳の私は、まだキャンバスに書き終えてはいけないのだから。運命なんていう固定された人生はないのだから。

未来の私。あなたは一体どんな絵を見ることだろう。

優秀賞

写真部門



京都市立芸術大学 2 年 清水 花菜 「ゆれる、」

優秀賞

イラスト部門



武蔵野美術大学 1 年 瀧嶋 三稀 「踏み出す勇氣」

優秀賞

エッセイ部門

国際基督教大学教養学部 4 年

大野菜里

「相思相愛」

私はクモに愛されている。
見えない害虫を食べてくれる。
私は近所の犬に愛されている。
毎日愛らしく吠えてくれる。
私はベネツィアのバーのマスターに愛されている。
おいしいワインを振舞ってくれる。
私は弟に愛されている。
酔った姉の戯言に一晩じゅう付き合ってくれる。
私は地球に愛されている。
四季をくれる。
私は宇宙に愛されている。
人として私として、生命を与えてくれる。

今日も十分に愛された。

さあ、世界を愛しにゆこう。

佳作

イラスト部門



「あせってる」
立命館高校 3 年
糟谷 晴



「お腹痛い」
姫路市立琴丘高等学校 3 年
藤原 綾香



「シンジウ」
中国デザイン専門学校 1 年
上木 柚花子



「未来へ向かって」
生駒市立大瀬中学 3 年
木路 朋華



「昼休みは短いからこそ楽しい。」
姫路市立琴丘高等学校 2 年
西山 百花



「好きな色だけ見ている。」
中国デザイン専門学校 1 年
竹内 啓祐

佳作

写真部門



「教室で押し潰されそうになってる」
岡山理科大学附属高校 2 年
山口 りな



「何の具入れる？」
新潟大学 2 年
篠崎 万智子



「一緒に一息つく？」
福岡市立当仁中学 2 年
大野 恵睦



「ダイナミック」
熊本県立熊本北高校 3 年
西山 百花



「青春、ラストスパート」
中国デザイン専門学校 1 年
鳥越 彩加



「黄昏れ」
明治学院大学 3 年
土田 智也



姫路日ノ本短期大学 1 年
植坂 頼子



姫路日ノ本短期大学 1 年
柴田 優花



姫路日ノ本短期大学 1 年
森下 希望

佳 作

エッセイ部門

武蔵野大学 3 年
明内 亮雅
「はじめまして、そしてこれから」

兵庫県立宝塚北高等学校 3 年
辻元 新
「見つけたもの」

福岡県立八幡高等学校 2 年
平原 のぞみ
「ぐるぐる」

東京大学 4 年
山縣 香奈
「にやにや」

いっぱいのお会いがあった
はじめて見たのはきっと母の顔
次に見たのは父と言いたいけど、きっとお医者さん
それから、父、兄、いっぱいの人
友だちになった人もいて、恋人になってくれた人もいる
いっぱいのお別れがあった
そこには沢山の涙があって
つらくて、哀しくて
人生は優しくないと何度も思った
でもきっと
明日も明後日もそのまた次の日も
私は出逢うために生きている

その種はキラキラと輝いていた
その種はふわりと軽かった
なにより、その種は暖かかった
僕はそれを育てる事にした
晴れた日には水をやり
雨の日には傘をさした
風が強ければ覆いかぶさり
雪が降れば降りやむまで一緒にいた
芽が出て、背が伸び、やがてそれは木となった
僕がへこめば、大したことないと言いたげに葉を落とし
僕が喜べば、微笑むかのように風に揺られた
僕の見つけた青春
僕が見つけたものは今、大輪の花を咲かせようとしている

いま、なにしてる？
5 歳の時、夢を語ってくれた男の子
いま、なにしてる？
10 歳の時、かわいいと言ってくれた男の子
いま、なにしてる？
15 歳の時、進むべき道を示してくれた男の子
いま、なにしてる？
20 年後、私と出会い人生を共に歩いてくれる男の子
いま、なにしてる？
この先の未来、恋多き女の私は、、、

大学 4 年の秋、母とにやにやしてる。
もうすぐ社会人になる私に母は
「やっと子育て終わり。
もう子育てはしたくないわ。」と。
言葉とは裏腹に満足したような、寂しそうな、
複雑な顔。
そんな母に、
「不出来な娘ですみません。」と私。
お互い素直じゃないから二人で顔を見合わせて、
にやにや。

そんな遠くない未来、私が同じことを言ったら
また二人で、いや、おばあちゃんになった母と私と
まだ見ぬ子どもと
3 人でにやにやしたいね。

神戸女学院高等学部 2 年
山本 亜侑
「きょうもたたかえ」

早稲田大学 2 年
滝澤 有咲
「家族の愛」

筑波大学大学院 2 年
河面 知定
「きっかけ」

沖縄県立読谷高等学校 3 年
長濱 若奈
「笑っている」

どんなに今日を嘆いても
全部全部投げ出しくなっても
それでも明日はやってくる。
逃げたって
立ち向かったって
陽が沈んで昇れば今日になる。
そして次の明日が来る。
狂おいしいくらい必然に
泣きたくなるほど当然に。
ぼーっと過ごした昨日も
歯を食いしばって耐えた今日も
笑い転げて過ぎる明日も
一つずつ積み上げて。
僕らはずっと、
そうやって、進んでゆく。

一歩も退いてやるもんか

小さな明日を積み上げて
今日も僕らは生きてゆく。

「いま、なにしてる？」
ご飯の用意をしてるんだ。
今日は大好物のハンバーグ。
と、優しい母。

「いま、なにしてる？」
会社を出たところなんだ。
今日も家族のために頑張ったよ。
と、逞しい父。

「いま、なにしてる？」
家でテレビ見てるんだ。
駅まで迎えに行こうか？
と、頼もしい兄弟。

「いま、なにしてる？」
布団を干してるんだ。
日に当てた布団は疲れがとれるのよ。
と、孫思いの祖母。

「いま、なにしてる？」
から伝わる家族の愛。

大学生活が終わる
ぼくは何者かになれるだろうか

最近、気付いた
部屋で、ひとりで悩んでも
きっと、何もはじまらない
待っていても、空から少女は降ってこない

疎遠な友人に声を掛けてみる
いつもと違う裏道を帰ってみる
食わず嫌いのピーマンを食べてみる
行くあてもなく、電車に乗ってみる
小さなきっかけで、きっと、すべてがはじまる

悩んで、動いて、悩んで、動いて
そうやって、生きていく

私は泣いた
足が悪くなり歩けないあなたを見て
私は泣いた
久々に会った私に向かって歩いてくるあなたを見て
私は泣いた
ぎゅっと抱きしめるあなたを抱きしめて
私は泣いた
綺麗な花に囲まれて青白く光るあなたを見て

あなたは泣いた
私の泣いた顔を見て

私は笑っている
あなたの笑顔が見たいから

佳作

エッセイ部門（短歌）

歩きつつ 振り返りつつ 歩きつつ ここまで来たが まだまだ進む

日ノ本学園高等学校1年 鳥井 萌衣

震災の つめあと残る 石巻 ただただ祈る 復興の日を

日ノ本学園高等学校2年 田尻 沙妃

「おはよう」の 数だけあるよ 「おやすみ」が この幸せが 続くといいな

日ノ本学園高等学校3年 東森 麻祐

あの時の 先生目指し 二年間 この学び舎で 成長したい

姫路日ノ本短期大学1年 植坂 頼子